

# 第66期 中間報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日



三重工場

おいしさ、ふれあい。  
**PRIMA**

証券コード:2281

# 株主の皆様へ



拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、平成24年4月1日から平成24年9月30日までの当社グループの経営成績につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成24年12月

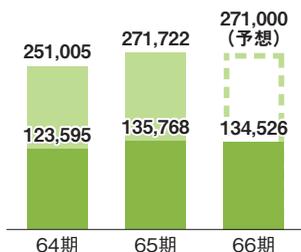
代表取締役社長 松井鉄也

## 連結財務ハイライト

### ■ 売上高

**1,345億円**  
(前年同期比0.9%減)

■ 中間期 ■ 通期 (単位:百万円)



### ■ 営業利益

**36億円**  
(前年同期比2.3%減)

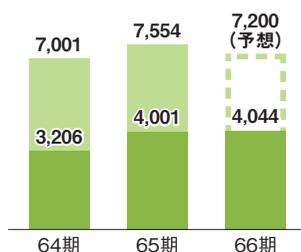
■ 中間期 ■ 通期 (単位:百万円)



### ■ 経常利益

**40億円**  
(前年同期比1.1%増)

■ 中間期 ■ 通期 (単位:百万円)



### ■ 四半期(当期)純利益

**23億円**  
(前年同期比9.6%減)

■ 中間期 ■ 通期 (単位:百万円)



※予想数値は、11月5日決算発表時で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、事業環境などの変動により、予想とは異なることがあることをご承知おきください。

## 上半期営業の概況

円高の一服、復興需要、エコカー補助金などを下支えに景気の復調気配が見られたわが国経済は、当期に入り徐々に停滞感を強めてきました。欧州債務危機の再燃、米国・中国の景気減速、円相場の高止まり、輸出の不振が顕在化するとともに堅調に思われた消費についても陰りが見え、景気の減速が鮮明になってきました。

当業界におきましては、消費者の低価格・節約志向や競争激化による販売価格の低迷という厳しい環境下にあり、ハム・ソーセージの販売数量は比較的堅調に推移するものの、食肉においては価格低迷下の消費不振という極めて厳しい状況となりました。また、米国の干ばつによる穀物不足は家畜飼料にも影響を及ぼし、今後原材料価格の上昇が懸念されます。

このような状況のなか、当社グループは「健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化の発展に貢献していく」という基本的な考えのもと、諸施策に取組み収益の確保に努めました。

売上拡大とシェアアップを図るため、消費者キャンペーンの拡充と重点商品を中心に商品の定着化や取引先の拡大を推進するとともに、適宜新商品を投入し育成してまいりました。また「惣菜部」を新設し、伸びている中食市場の開拓に努めました。

生産面においては引き続き生産ラインの効率化投資を進め、生産効率の向上やコストダウンによる競争力の強化に注力しました。

本年5月には頂新グループの康師傅方便食品投資(中国)有限公司と中国においてハム・ソーセージ製造販売事業を行うことで合意し、8月に合弁会社を設立しました。中国国内での本格的な製造販売事業展開の第一歩となり、来年9月に工場が稼動する予定です。

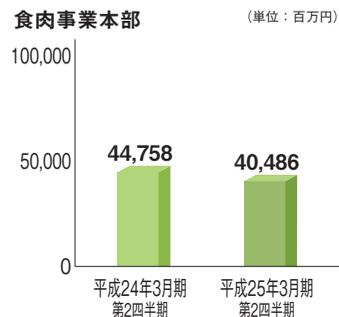
食の安全・安心については引き続き生産現場においてHACCP、ISO22000、AIBフードセーフティ(GMP)指導・監査システムなどを活用し日常管理の徹底・強化に努めました。その結果、三重工場においてはAIBフードセーフティ監査により「最優秀(Superior)」の評価を得ました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,345億26百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は36億55百万円(同2.3%減)、経常利益は40億44百万円(同1.1%増)、四半期純利益は23億18百万円(同9.6%減)となりました。

## セグメント概況

### ● 食肉事業本部

食肉事業本部においては、鶏肉をはじめ豚肉、牛肉においても価格低迷という厳しい事業環境となりました。こうしたなか当社グループはオリジナルブランド肉の拡販などにより利益確保に努めましたが、売上高は404億86百万円(前年同期比9.5%減)となり、セグメント利益は4億88百万円(同38.0%減)となりました。



### ● 加工食品事業本部

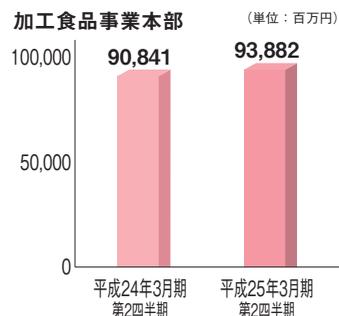
#### 〈ハム・ソーセージ部門〉

ハム・ソーセージ部門においては「香薫ウインナー」をはじめとする重点商品の拡販に努めるとともに、中食向けをはじめとする業務用商品の開発・拡販にも注力してまいりました。また、新商品についても適時投入し市場での定着を図りました。生産面においては引続き省力化・効率化投資を推進しコスト競争力強化に努めました。

#### 〈加工食品部門〉

加工食品部門においては、コンシューマー商品、業務用商品とも営業と開発が一体となって拡販に努めるとともに、惣菜部を新設し量販店をはじめとする市場の深耕開拓に着手しました。また、コンビニエンスストア向けのベンダー事業については店舗の増加や工場新築移転・生産設備の高度化などにより売上を拡大することができました。

結果、加工食品事業本部におきましては、景気の悪化、低価格・節約志向など厳しい事業環境下、売上高は938億82百万円(前年同期比3.3%増)となり、セグメント利益は32億76百万円(同11.3%増)となりました。



### ● その他

その他事業(情報処理、商品検査等)の売上高は1億57百万円(前年同期比6.5%減)となり、セグメント損失は1億8百万円(前年同期はセグメント利益9百万円)となりました。

# 中間経営計画

当社は「なくてはならない会社」を目指し、総合的な営業力強化により収益の基盤となる売上拡大を具現化し、将来的に売上高および利益水準を2010年度比の2倍規模のグループとする中期経営計画(第一ステップ・2011年～2013年度)のローリングプラン(2012～2014年度)を策定しました。

## 中期経営計画ローリングプラン

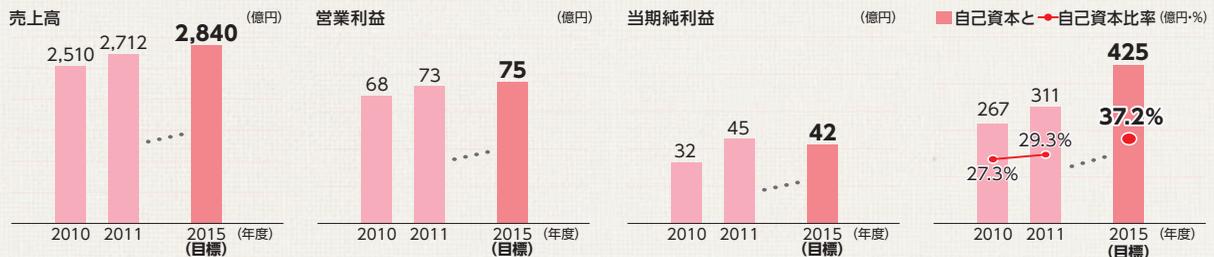


### 2015年3月期 P/L目標数値(連結)

	2012年3月期実績	2015年3月期計画
売上高(億円)	2,712	2,840
営業利益(億円)	73	75
当期純利益(億円)	45	42

### 2015年3月期 B/S目標数値(連結)

	2012年3月期実績	2015年3月期計画
総資産(億円)	1,065	1,143
自己資本(億円)	311	425
自己資本比率(%)	29.3	37.2



# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		科目	期別	
	当第2四半期末 平成24年9月30日現在	前期末 平成24年3月31日現在		当第2四半期末 平成24年9月30日現在	前期末 平成24年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	52,443	52,693	<b>流動負債</b>	48,490	49,031
現金及び預金	7,938	11,078	支払手形及び買掛金	32,149	29,152
受取手形及び売掛金	28,918	27,870	短期借入金	1,356	4,575
商品及び製品	11,162	9,408	1年内返済予定の長期借入金	2,711	3,233
仕掛品	376	312	未払法人税等	1,609	981
原材料及び貯蔵品	1,093	1,077	賞与引当金	1,205	1,108
その他	2,972	2,965	役員賞与引当金	—	30
貸倒引当金	△18	△18	その他	9,457	9,949
<b>固定資産</b>	54,806	53,781	<b>固定負債</b>	20,037	20,836
有形固定資産	46,151	45,943	社債	62	104
建物及び構築物	18,388	18,258	長期借入金	11,362	12,071
土地	18,037	18,526	退職給付引当金	3,998	3,871
その他	9,726	9,158	資産除去債務	85	85
無形固定資産	628	668	その他	4,528	4,703
投資その他の資産	8,025	7,169	<b>負債合計</b>	68,527	69,867
投資有価証券	4,306	3,933	<b>純資産の部</b>		
前払年金費用	1,484	876	<b>株主資本</b>	30,199	28,255
その他	2,532	2,589	資本金	3,363	3,363
貸倒引当金	△297	△229	資本剰余金	3,964	3,964
<b>資産合計</b>	107,250	106,475	利益剰余金	22,935	20,990
			自己株式	△64	△62
			<b>その他の包括利益累計額</b>	2,622	2,890
			その他有価証券評価差額金	491	618
			繰延ヘッジ損益	△8	△5
			土地再評価差額金	2,489	2,563
			為替換算調整勘定	△349	△284
			<b>少数株主持分</b>	5,901	5,461
			<b>純資産合計</b>	38,722	36,607
			<b>負債純資産合計</b>	107,250	106,475

**四半期連結損益計算書**

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期
		自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日
売上高		134,526	135,768
売上原価		111,916	112,726
売上総利益		22,610	23,042
販売費及び一般管理費		18,954	19,302
営業利益		3,655	3,740
営業外収益		652	621
営業外費用		264	360
経常利益		4,044	4,001
特別利益		703	166
特別損失		305	111
税金等調整前四半期純利益		4,442	4,056
法人税等		1,582	1,068
少数株主損益調整前四半期純利益		2,859	2,987
少数株主利益		541	422
四半期純利益		2,318	2,565

**四半期連結キャッシュ・フロー計算書**

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期
		自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー		5,335	4,149
投資活動による キャッシュ・フロー		△3,246	△ 2,746
財務活動による キャッシュ・フロー		△5,159	△ 2,997
現金及び現金同等物に係る 換算差額		△28	1
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)		△3,098	△ 1,591
現金及び現金同等物の 期首残高		10,745	11,098
現金及び現金同等物の 四半期末残高		7,646	9,506

## ハム・ソーセージ製造販売事業の中国進出

## ～中国・台湾食品・流通大手頂新グループと合併事業～

当社は中国におけるハム・ソーセージの製造販売事業に進出することになりました。これまでも中国(山東省)やタイなどに生産拠点としての進出はしてきましたが、現地向けの販売という意味では初めての海外進出となります。

今回の事業は現地パートナーとの合併事業となり、5月17日に中国・天津で合併会社設立に関する契約を締結しました。パートナーは中国・台湾の食品・流通大手である頂新グループの康師傅控股有限公司の子会社の康師傅方便食品投資(中国)有限公司です。

新会社は今年中に新工場の建設を開始し、2013年度の工場稼動予定、上海エリアを中心に中国国内での販売を行い、5年後には年間7,000トンの販売数量を計画しています。



資本金：2,400万米ドル

出資比率：  
康師傅方便食品投資(中国)有限公司60%  
プリマハム株式会社40%



康師傅のキャラクターと合併契約締結の記念品

## フードセーフティジャパン2012へ出展

当社の基礎研究所は2012年9月19日(水)から21日(金)まで東京ビッグサイトで開催された「フードセーフティジャパン2012」に食物アレルギー物質検査キット(アレルゲンアイELISA※1)や病原微生物同時検出法(TA10システム※2)などを出展しました。



東京ビッグサイトのブースにて



ELISAキット



TA10システム

- ※1 ELISAキットとは、食品中に混入したアレルギー物質の量を正確に測定するキットで、消費者庁より通知法として認められています。
- ※2 TA10システムとは、食中毒菌3種(〇157、サルモネラ、リステリア)を、遺伝子情報を利用して同時に短時間で正確に検出するシステムです。

## ご当地グルメ 「本荘ハムフライ」

2012年10月20日(土)、21日(日)に福岡で開催された「第7回B1グランプリ」に当社の子会社秋田プリマ食品株式会社と「本荘ハム民の会」で共同開発したご当地グルメ「本荘ハムフライ」が出展されました。残念ながら入賞はできませんでしたが、大勢のお客様にご好評いただきました。



「本荘ハムフライ」出展ブース

2年連続出展

## 放射性物質の検査体制を整備

当社は2012年4月1日から施行された食品中の放射性物質の基準値への対応として、ゲルマニウム半導体検出器およびNaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータを設置し、放射性物質の検査体制を整えました。



NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ

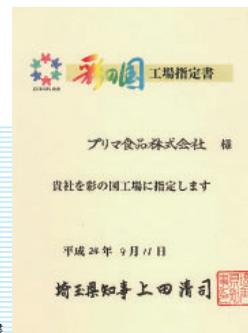


ゲルマニウム半導体検出器

## 埼玉県『彩の国工場』に指定されました

(プリマ食品株式会社)

当社の子会社プリマ食品株式会社(埼玉県比企郡吉見町)はこのたび、埼玉県『彩の国工場』に指定されました。『彩の国工場』とは、地域に開かれ、地域に愛される工場づくりを進めるために、技術力や環境面で優れている埼玉県内の工場を「豊かな彩の国づくりの協力者」として、埼玉県知事より指定されるものです。



指定書

## 商品のご紹介

NEW



### 豚角煮 みそ味

2012年8月1日発売

赤味噌を使用した  
新しい味付けの豚角煮です。

NEW



### 焼豚屋 切れてます 直火焼 焼豚

2012年10月10日発売

包丁を使わずにそのまま手軽にご利用  
頂けるスライスタイプの商品です。

NEW



### つるし造り 燻しベーコンブロック

2012年11月1日発売

「香り」と「自然な形」にこだわった「燻し  
シリーズ」のブロックタイプのベーコン。

NEW



### 骨付きフライドチキン

2012年7月1日発売

骨付き肉の旨みと4種類のスパイス(ブ  
ラックペッパー、ホワイトペッパー、セー  
ジ、ジンジャー)が絶妙なバランス。



### イメージキャラクター 「プリマるくん」

イメージキャラクターとして  
「プリマるくん」を起用。既存の油  
調(チキン)商品のパッケージに  
も登場。「プリマるくん」シリーズ  
として発売中。

笑顔が広がる輪の中に  
おいしさ広がる鍋がある



### 鍋三味 比内地鶏スープ (ストレートタイプ)

日本三大地鶏の「比内地鶏」の肉つきガラを原料に使用しかつお節の風味をきかしたおいしい鍋用スープです。



### 秋田県産 大館発 きりたんぼ 3本入り

秋田県産あきたこまちを100%使用したこだわりのきりたんぼ。



### ベーコン ロールキャベツ

ベーコンを巻いた使いやすいサイズのロールキャベツです。煮込むとベーコンの旨みと香りがスープに溶け出します。



### 鍋三味® 生つくね(プレーン)

和風はもちろん、カレー鍋・トマト鍋等洋風鍋にもよくあい、どなたにもおすすめできるオーソドックスな味付けです。

## 単元未満株式の買取・買増請求制度のご案内

当社の単元株式数は1,000株となっております。1株から999株の単元未満株式につきましては、証券市場で売買できない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約がございます。

当社では単元未満株式の「買取請求制度」および「買増請求制度」を採用しておりますのでご案内申し上げます。

### ■単元未満株式の買取・買増請求制度の概要



(ご注意)

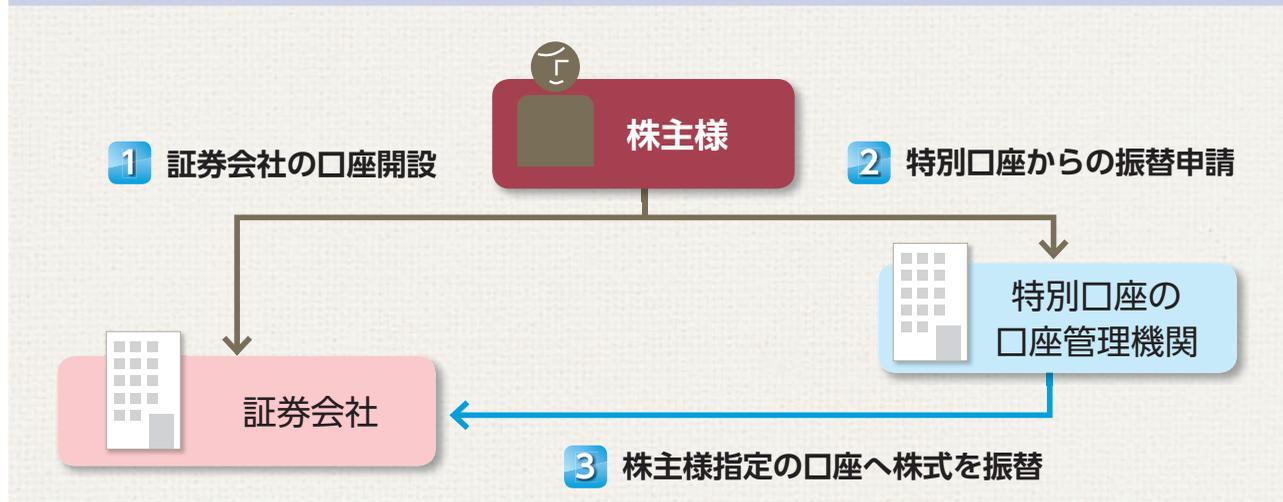
1. 単元未満株式の買取・買増請求のお手続きにつきましては、単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている場合はお取引口座のある証券会社等に、特別口座に記録されている場合は後述の特別口座の口座管理機関にお問合せください。
2. 中間および期末などの基準日の権利確定前一定期間ならびに受付停止期間が設定された場合は、買取・買増請求の受付を停止させていただきますのでご承知おき下さい。
3. 買取・買増請求制度のご利用にあたっては、当社所定の手数料をご負担頂きます。
4. 特別口座以外の口座管理機関(証券会社等)でお手続きされた場合、取次手数料を請求される場合がございます。

## 特別口座をご利用の株主様へのご案内

特別口座とは、株券電子化移行時に株券をほふり（証券保管振替機構）に預託しなかった株主様のために、当社が三井住友信託銀行に開設した口座です。

特別口座に記録されている株式は、証券市場では売却ができません。  
株式に係るお手続きを容易にするためにも、証券会社に口座を開設し、特別口座からの振替を行ってください。

■特別口座から証券会社の口座への振替のお手続き（**1 2 3** がお手続きの順番となります）



（ご注意）

1. **2** のお手続きにつきましては、下記の特別口座の口座管理機関にお問合せください。

**特別口座の口座管理機関**

**三井住友信託銀行株式会社 証券代行部**

**〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）**

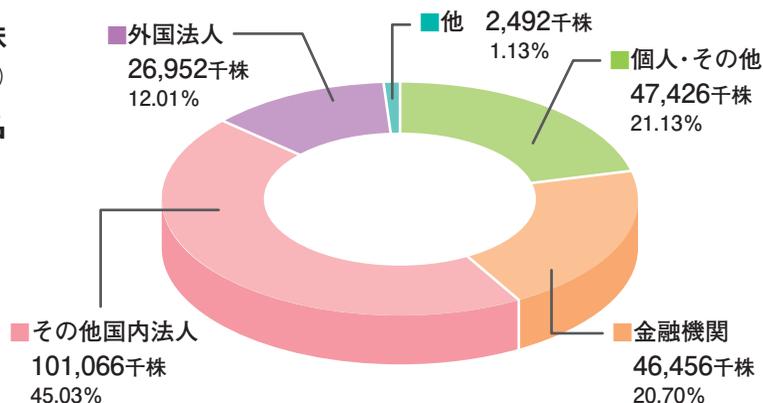
2. すでに証券会社等に口座をお持ちの場合、**1** のお手続きは必要ございません。

## 株式情報(単体)

(平成24年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 **350,000,000株**
- 発行済株式総数 **224,392,998株**  
(自己株式587,449株)
- 株主数 **14,589名**

## ● 所有者別株式分布状況



## ● 大株主

大株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
伊藤忠商事株式会社*	88,330	39.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,494	3.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,761	2.57
株式会社サンショク	5,000	2.23
三井住友信託銀行株式会社	4,613	2.06
学校法人竹岸学園	4,541	2.02
株式会社みずほコーポレート銀行	3,832	1.71
農林中央金庫	3,565	1.59
MELLON BANK,N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	3,252	1.45
日本生命保険相互会社	2,789	1.24

(注) \*印の株主は、発行済株式(自己株式を除く。)の総数の10分の1以上の株式を保有しています。

# 会社概要

(平成24年9月30日現在)

## ■ 会社概要

商号	プリマハム株式会社 Prima Meat Packers, Ltd.
本社	〒140-8529 東京都品川区東品川4丁目12番2号 TEL:03-6386-1800
代表者	代表取締役社長 松井 鉄也
事業内容	ハム・ソーセージ、食肉および 加工食品の製造販売
創業	昭和6(1931)年9月1日
設立	昭和23(1948)年7月9日
資本金	33億63百万円
従業員数	2,358名 (執行役員および臨時従業員の 平均雇用人数を含めております。)
支店等	北海道支店・東北支店(宮城)・東京支店・ 中部支店(愛知)・関西支店(大阪)・中四国支店(広島)・ 九州支店(福岡)
工場	北海道工場・茨城工場・三重工場・鹿児島工場
物流センター	関東物流センター(茨城)・三重物流センター・ 福岡物流センター 他7ヶ所
研究機関	基礎研究所(茨城)・生産技術開発部(茨城)
グループ会社	33社

## ■ 役員

代表取締役社長	松井 鉄也
専務取締役	梶井 香樹
専務取締役	石川 正則
常務取締役	大森 雅夫
取締役	前田 茂樹
取締役(社外)	山下 丈
常勤監査役	岩下 誠
常勤監査役(社外)	奥平 博之
監査役(社外)	江名 昌彦

## 株主メモ

- 事業年度  
4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会  
毎年6月に開催いたします。
- 基準日  
定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当金 3月31日  
その他、必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 単元株式数  
1,000株
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- お問い合わせ先・郵便物送付先  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社本店および全国各支店で行っております。
  - ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。  
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
  - ・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。  
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
- 公告の方法  
電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京地において発行する日本経済新聞に掲載して行う。

## プリマハム株式会社

東京都品川区東品川4丁目12番2号 品川シーサイドウエストタワー 〒140-8529  
電話 03-6386-1800  
<http://www.primaham.co.jp/>



おいしいよれあい  
**PRIMAHAM**



TZS-500R



BP-70

